

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（店 長）	単価の動き	・来客数は前年並みだが、新三種の神器（DVDレ コーダー、薄型テレビ、デジタルカメラ）の売上の ウェイトがかなり高くなっている。
	やや良く なっている	百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・紳士服の売上は、12月に入り気温が一気に低くなっ てきたことから、好調に推移している。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・買上商品数、商品単価とも徐々に上昇している。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・今月は天候、特に週末の気温が低下したことから、 販売量、単価とも上昇し、売上高が伸びた。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・来客数、単価ともに前年を上回っている。特に、液 晶テレビ、DVDレコーダーの売行きが良くなってい る。
		一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・客単価を低く抑えた結果、予約件数、売上が少し増 加している。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・3か月前と比べ、来客数が伸びている。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・11月から若者が好むような新メニューの導入と広告 宣伝に注力した結果、若い客が増加した。
	その他住宅〔不 動産〕（経営 者）	お客様の様子	・秋以降、住宅用地が一段と値下がりしたため、中古 住宅や住宅用地がよく売れ出した。	
	変わらない	商店街（代表 者）	競争相手の様子	・年末に郊外型大型ショッピングセンターがオープン した結果、周辺のスーパー、量販店のみならず、他地 域の大型ショッピングセンターも大きな影響を受け た。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	競争相手の様子	・例年12月は1年間で一番忙しい時期であり、特にク リスマス、年末は普段の2～3倍売れるが、今年は普 段の月と変わらない売上である。
		一般小売店〔乾 物〕（店員）	単価の動き	・年末の歳暮等の売上が非常に悪い。百貨店等も同様 の状況である。
		百貨店（総務担 当）	単価の動き	・クリスマスケーキ、お節料理の単価が1割近く下落 した。例年、クリスマスケーキの売筋は、2,700～ 2,800円であるが、今年は2,500円であった。お節料 理は、7～8万円の高額品と2万円前後の商品に二極 分化しているが、今年は特に2万円前後の商品がよく 売れた。 ・お歳暮は、今まで1万円の商品を購入していた客 が、5,000円と3,000円の商品を抱き合わせて送っ ている。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・前年同月比では来客数、売上ともに若干減少した。 歳暮ギフトは、法人受注の減少を店頭受注でカバーし 善戦したものの、若干の減少となった。衣料品は、紳 士物が伸び、婦人物、ファッションパーツが前年を下 回った。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・過去3か月間、売上高は前年を上回っていたが、今 月は0.8ポイント下回った。
衣料品専門店 （経営者）		お客様の様子	・気温低下とともに、コート、ジャケット等の重衣料 の一部に動きが出始めたが、例年に比べ動きが遅く、 売場ごとにばらつきがある。	
乗用車販売店 （従業員）		お客様の様子	・年末のボーナス商戦では、公務員も含めて支給額が 減少し、購買意欲を削がれている。また、商品の購入 決定までのプロセスが非常に長い。	
乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新型車が投入され前年を上回ると期待していたが、 前年と同じ程度の販売台数にとどまった。		
乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年比を上回っているが、受注台数が思う ほど上がらない。		
スナック（経営 者）	来客数の動き	・会社、各種団体等のグループ客が少ない。		
旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・例年とあまり変わらないが、正月休みを利用しての 海外旅行はほとんどなく、国内、特に京阪神から山 陰、山陽、四国島内の温泉等を中心とした近場の旅 行、節約型の旅行の申込が多かった。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	来客数の動き	・年末の夜と週末は、忘年会などで人は多かったが、近場への移動がほとんどであった。昼間の動きは依然として悪く、全体としては、2、3か月前と比較し変化がない。
	やや悪くなっている	一般小売店〔菓子〕(販売担当)	販売量の動き	・今月の売上は、前半が低迷し、後半に盛り返したが、全体では前年同月比で1割以上落ち込んでいる。
		一般小売店〔書籍〕(営業担当)	販売量の動き	・ボーナス支給の前で売上に変化がみられない。むしろ客単価は低下傾向にある。
		スーパー(店長)	単価の動き	・来客数は昨年とほぼ同じだが、客単価は4～6%ほど下落している。
		スーパー(営業担当)	お客様の様子	・クリスマス、お歳暮ギフトとも、動きが例年以上に悪い。また、お歳暮以外のギフト需要も低調に推移している。お正月準備用品、お節関係も、総量を買ひ控えている。晴れ着関係、外出着関係の商品も低調に推移しており、客は財布のひもを固くしている。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・例年12月は食料特売、各種イベントの実施により、売上が前年並み、あるいは若干の売上増となるが、今年は客単価が5%も低下し、効果が出ていない。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・来客数および客単価が、あまり良くない。客も例年の12月に比べて買ひ控えており、クリスマス、年末も、売上は今一つ伸びなかった。
		家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・来客数は前年より良いが、販売数については前年比で5%以上低下した。特に、季節商品で暖冬の影響が大きい。
悪くなっている	住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・給与の手当がカットされ、住宅ローン申込が難しくなったために解約した客がいた。	
	美容室(経営者)	来客数の動き	・例年12月は来客が多いが、今年は、平常月と同じ状況であった。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・環境に良い新商品が少しずつ市場で拡大してきている。
		化学工業(販売担当)	受注量や販売量の動き	・全体的に稼働率は上昇している。特に精綿、家庭紙関連の資材は好調に推移している。
	変わらない	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年どおり年末は小規模な設備工事、メンテナンスの業務が増えていたが、業界の勝ち組だけが設備投資をし、負け組は全くない状態であり、変化は見られない。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事の受注量は落ち込んでいるが、民間工事の受注量が増加しており、全体では横ばいの状態である。
		建設業(経営者)	その他	・同業者、専門業者の倒産等が減らない。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・一部製造業では売上回復がみられるが、大部分の業種で売上は回復せず、利益も下落に歯止めがかかっていない。
		公認会計士	取引先の様子	・小売、卸売、建設、製造等の決算内容において、前年比でマイナスである企業が80%を占め、景気動向は3か月前と変わっていない。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・排ガス規制に伴う需要が山場を越え、ユーザーの動きは少し鈍くなってきており、また、大型の特殊案件も少ない。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・年末から為替が円高基調にあり、実質的に輸出の売上が下がってきている。
悪くなっている	木材木製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・住宅ローン減税に係る駆け込み需要物件の引渡ししが12月で完了し、それによる一服感と年始を控えての季節要因で悪くなっている。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・全体的に年末にかけて、プレーン(例えば、店長、部長、責任者)を採用したいというニーズがあり、求人数がやや増加した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月連続で増加し、専門技術職の求人意欲は上昇しているが、業務請負、派遣などの契約社員の求人が多数を占めている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人は増加傾向にあるが、派遣、請負、パート等の臨時社員の求人が目立っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は、前年同月比3.2%で3か月連続のプラスとなったが、これはパート求人の2割増が要因であり、一般求人では3%のマイナスとなっている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数はすべての業種において減ってきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・16年の新卒者の採用動向については、未内定者が相当数いる状況にもかかわらず、求人活動は既に終息しているため、回復が見込めない。
	悪くなっている	-	-	-